

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 34-002

PDCA	事務事業名	看護職員確保対策事業	部課等名	半田病院事務局 管理課 経理担当	担当	石川	
					内線等	22-9881	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち 節： 第3節 健康増進と医療体制の充実 基本施策： 3. 半田病院 単位施策： (2) 健全な経営の推進 個別施策： ①人材の確保					
	根拠法令等	半田市看護師等修学資金貸与条例、施行規則					
	対象・目的	充実した診療体制を維持し、看護の充実を図るため、優秀な人材を確保し、安定した医療体制を保つことができるようにする。					
	目的を達成するための手段・活動内容	就職説明会等への積極的な参加により、柔軟な勤務体制や看護補助者の採用等による看護業務に専念できる体制作り、認定看護師等の資格取得支援などによるモチベーションの向上により定着率の向上を図る。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①新規採用職員（看護師）数	41	32	38	人	
		②看護師退職者数	27	28	39	人	
		③看護師退職者数のうち新規採用者の退職者数	2	4	1	人	
		事業費	-	-	-	千円	
		人件費	-	-	-	千円	
		総事業費	-	-	-	千円	
		活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位	
	①看護師募集に係る費用	27,438	29,988	22,586	千円		
	②						
	③						
	成 果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		①新規採用職員（看護師）の離職率	実績値	4.9	12.5	2.6	%
			目標値	8.0	7.5	7.8	
②常勤看護職員の離職率		実績値	7.1	7.1	9.8	%	
		目標値	9.8	10.8	10.9		
③		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	B					
		「医療従事者の負担軽減及び処遇の改善に資する計画」の策定とともにワークライフバランスの推進に努めたほか、育成の強化やコミュニケーションの充実を図り、新規採用者の離職率については改善することができた。家庭の都合のほかやむを得ない事情などにより、常勤看護師の離職率については増加したが、入院患者数の増加や施設基準の厳格化にともない、看護師の負担が増えた状況の中においても目標値については達成することができた。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
	働き方改革に合わせて、さらなるワークライフバランスの推進に努めるほか、教育・育成体制の充実による新たな目標やスキルアップへの支援を行うことで、心身両面の負担軽減を図り、看護の質の向上とあわせて働き続けられる職場環境を整える。						
	令和元年度の目標	成果指標	目標値		単位		
		①新規採用職員（看護師）の離職率	7.6		%		
		②常勤看護職員の離職率	10.9		%		